

議第 1 号 令和 4 年度都留市社会福祉協議会事業報告及び収支決算の件

令和 4 年度 事業報告

社会福祉法人 都留市社会福祉協議会

Ⅱ 実施事業

社会福祉事業

法人運営事業

理事会・評議員会	1
つるの福祉発行	2
非常災害基金事業	2

福祉活動推進事業

社会福祉大会事業	3
歳末たすけあい事業	3
地区社協支援事業	3
民生委員・児童委員協議会への支援と助成事業	3
地域福祉活動計画事業	4
社会福祉資金貸付事業	4
福祉バザー事業	4

ふれあいのまちづくり事業

都留市ボランティアセンターの運営	5
都留市ボランティア連絡会の支援	5
都留市ボランティアまつり	5
地区ボランティアコーディネーター設置事業	6
災害救援ボランティア・福祉救援ネットワーク活動事業	6
福祉教育推進事業	7
ボランティア活動推進校事業	7
ボランティア団体助成事業	7
各種ボランティア養成事業	7
総合相談事業	8
ふれあい・いきいきサロン	8
いこいのひろば	9
地区ふれあい福祉集会	9

福祉医療健康講座	9
老人の幸せの里づくり事業	10
おふくろの味・知恵袋交換会	10
都留市住民参加型有償在宅福祉サービス事業	10
福祉課・長寿介護課・健康子育て課・社会福祉協議会四者での情報交換会	11
障がい者スポーツの振興	11
共同募金配分金事業	11
福祉サービス利用援助事業	12
障害者社会参加促進事業	
奉仕員等（点字奉仕員・手話奉仕員）養成事業	13
点字・声の広報など発行事業	13
当事者組織の支援の実施	13
在宅福祉推進事業	
給食サービス事業	14
ふとん丸洗い事業	14
生活福祉資金貸付事業	15
地域ふれあい健康推進事業	15
福祉バス（みどり号）運営事業	15
善意銀行事業	16
社会福祉基金事業	16
地域見守りネットワーク事業	16
生活支援体制整備事業	17
介護支援ボランティア事業	18
障害者等相談支援事業	18
特定相談支援・障害児相談支援事業	19
法人後見事業（新規）	19

生活困窮者自立支援事業（新規）	20
-----------------	----

介護サービス事業

居宅介護支援事業	21
訪問入浴介護事業	22
訪問介護事業	23
介護予防軽度生活支援事業	23
介護予防・日常生活支援総合事業（訪問介護）	24
通所介護事業	25
生きがい通所サービス事業	25
重度障害者訪問入浴事業	25
介護予防・日常生活支援総合事業（通所介護）	26
自立支援居宅介護事業（居宅介護、行動援護、重度訪問介護、同行援護）	27
障害者移動支援事業	29
基準該当生活介護事業	30
養育支援訪問事業	30

社会福祉事業

法人運営事業

事業名	事業の具体的内容と目的
理事会・評議員会	都留市社会福祉協議会は地域福祉の中心的な推進役として社会福祉法に位置づけられています。 法人運営においては、事業全体の管理や組織の管理を行うための理事会・評議員会を中心に法人の健全経営に努めることを目的とする。
事業実績	
<p>組織体制 理事 15 名／監事 2 名 評議員 18 名</p> <p>第 1 回理事会／令和 4 年 6 月 13 日（月） ○令和 3 年度都留市社会福祉協議会事業報告及び収支決算の件 ○理事候補者の選任の件 ○評議員候補者の選定の件 ○会長及び常務理事の職務執行状況報告の件 ○第 2 回理事会の開催について</p> <p>第 2 回理事会（決議の省略） ※新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため ○都留市社会福祉協議会副会長の選定の件</p> <p>第 3 回理事会／令和 4 年 12 月 16 日（金） ○役員候補者の選任の件 ○評議員選任・解任委員会の委員選任の件 ○評議員候補者の選定の件 ○会長及び常務理事の職務執行状況報告の件</p> <p>第 4 回理事会／令和 4 年 12 月 22 日（木） ○都留市社会福祉協議会副会長の選定の件</p> <p>第 5 回理事会／令和 5 年 3 月 20 日（月） ○専決処分の承認をを求める件（都留市社会福祉協議会補正予算（第 1 号）） ○専決処分の承認をを求める件（第 41 回留市社会福祉大会における社会福祉功労者の表彰の件） ○令和 5 年度都留市社会福祉協議会事業計画（案）及び収支予算（案）承認の件 ○第 3 次都留市地域福祉活動計画（案）の承認の件 ○第 2 次都留市地域福祉活動計画進行状況の件</p> <hr/> <p>第 1 回評議員選任・解任委員／令和 4 年 6 月 14 日（火） ○評議員の選任の件</p> <p>第 2 回評議員選任・解任委員／令和 4 年 12 月 16 日（金） ○評議員の選任の件</p> <hr/> <p>令和 4 年度都留市社会福祉協議会定時評議員会／令和 4 年 6 月 27 日（月） ○令和 3 年度都留市社会福祉協議会事業報告及び収支決算承認の件 ○理事の選任の件</p> <p>第 2 回評議員会／令和 4 年 12 月 22 日（木） ○役員の選任の件</p>	

第3回評議員会／令和5年3月24日（金）

○令和5年度都留市社会福祉協議会事業計画（案）及び収支予算（案）承認の件

○第3次都留市地域福祉活動計画（案）の承認の件

事業名	事業の具体的内容と目的
「つるの福祉」発行	社会福祉協議会が実施する事業や相談活動、ボランティアや市民活動の支援、共同募金運動への協力など、様々な情報を広く市民に周知することを目的とする。

事業実績

社協だより「つるの福祉」を年4回発行

月	内 容
5月	「働くをつなぐ」就労支援事業所紹介、令和4年度社協事業計画（社会福祉事業）、令和4年度社協事業計画（社会福祉事業）、令和4年度当初予算、社会福祉協議会会費のお願い、社会福祉大会、生活支援体制整備事業、善意銀行、総合相談所カレンダー、赤い羽根共同募金報告、ボランティア活動助成金、ボランティア活動保険、生活福祉資金貸付、畑楽もん、手話奉仕員養成講座、なでしこ基金、ボランティアロビー紹介、笑顔の写真展、シルバー作品展、ゲートボール大会、絵手紙特集
8月	畑楽もん、令和3年度都留市社会福祉協議会一般会費・特別会費・賛助会費、令和3年度決算報告、都留市社会福祉協議会新役員及び評議員の紹介、第3次都留市地域福祉活動計画、善意銀行、布団乾燥事業総合相談所カレンダー、生活福祉資金特例貸付、デイサービスからのお知らせ、スターランドとの災害連携協定、文大ボランティア広場コーヒーボランティア養成講座、新しい教室の紹介、老連旅行、ゲートボール大会、シルバー作品展全国大会進出、ライオンズ車椅子寄付絵手紙特集
11月	コーヒーボランティア養成講座、赤い羽根共同募金街頭募金、ボランティア推進校連絡会議、高校生災害ボランティアスクール、第3次地域福祉活動計画、法人後見、善意銀行、心配事相談、介護事業所からのお知らせ、畑楽もん、都留市ボランティア連絡会フードドライブ、フードバンク山梨、福祉バザー中止、生活福祉資金終了、布団乾燥、老人クラブ愛称募集、高齢者作品展、絵手紙
2月	災害特集、第3回策定委員会、パブリックコメント、都留市社会福祉大会、県社会福祉大会、厚生労働大臣表彰、ボランティア連絡会、ふとん丸洗い事業、東部地域高齢者作品展、おさらい会、介護事業所からのお知らせ、善意銀行、総合相談、フードドライブ、介護支援ボランティア、カメラボランティア、コーヒーボランティア、共同募金、絵手紙特集

事業名	事業の具体的内容と目的
非常災害基金事業	社協の事業の円滑な運営を図るため、非常災害基金を設置する。基金は災害により生じた経費の財源又は災害により生じた減収を補填するための財源に充てる。また、緊急かつ必要やむを得ない大規模な事業の経費に充てる。

事業展開

災害により生じた経費の財源又は災害により生じた減収を補填するため、また、緊急かつ必要やむを得ない大規模な事業の経費に充てるため、利息を積み立てた。

福祉活動推進事業

事業名	事業の具体的内容と目的
社会福祉大会 事業	本市社会福祉関係者が一堂に会し、社会福祉の発展に功績のあった方々及び団体を表彰し、感謝の意を表するとともに、より一層の地域福祉活動の充実を図ることを目的とする。 地域福祉に関する講演等を実施する。
事業実績	
開催日	令和5年2月22日（水） 午後1時30分
会場	都の杜うぐいすホール 小ホール
内容	表彰 顕彰5名、市長表彰5名3団体、社協会長表彰15名、社協感謝状2名2団体、老人クラブ会長表彰3名
事業名	事業の具体的内容と目的
歳末たすけあい 事業	80歳以上のひとり暮らし高齢者やねたきり高齢者に対して、一人3千円を贈呈し、歳末の買物の一助にしてもらうことを目的とする。
事業実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 援護物資を支給 80歳以上の在宅ひとり暮らし老人世帯（430世帯）に現金3,000円、寝たきり老人（40世帯）にタオル・現金3,000円 （事業費：共同募金500,000円・市補助金693,000円・社協負担金231,155円） 	
事業名	事業の具体的内容と目的
地区社協支援事業	地区社協は、住民一人ひとりが社会福祉に参加して、地域の中の助け合いを育てていくための組織です。地区住民や、町内会・自治会、民生委員・児童委員、その他地区の各種団体から選出された代表者によって構成される住民組織です。地区社協は、生活上のいろいろな問題や課題について話し合い、問題解決のための活動や福祉の風土作りを進めていく活動を支援しそれぞれ地域に根ざした福祉活動の展開を図ることを目的とする。 活動費の助成と、市社協から地区担当職員を配置する。
事業実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区社協へ活動交付金を支給し、福祉活動を推進するため助成 7地区合計 1,776,240円 ・ 7地区社協それぞれに市社協の職員を配置し、連携を密に地域福祉活動を推進した。 ・ つるの福祉にて、地区社協のふれあい・いきいきサロン活動を紹介した。 ・ 都留市自治会連合会へ地区社協への協力を要請した。 	
事業名	事業の具体的内容と目的
民生委員・児童委員協議会への支援と助成事業	都留市民生委員・児童委員協議会事業の育成を目的とし、助成金を交付する。
事業実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 都留市民生委員・児童委員協議会へ助成した。（246,000円） ・ 市社協の事業説明及び各種事業実施にあたり調査や協力を要請した。 	

事業名	事業の具体的内容と目的
地域福祉活動計画事業	<p>地域福祉活動計画は、都留市に暮らす誰もが、より暮らしやすくなるような「地域社会」を住民自身の手で作り上げていくための計画とし、様々な立場の住民の声を聞き、浮かび上がってきた地域社会の課題を解決するために、具体的な行動を起していくことを目的とする。</p> <p>また、市社協を取り巻く環境は大きく変化しており、福祉ニーズも複雑化・多様化している。このような中、改めて市社協の使命を明確にした上で、市社協の経営理念・経営ビジョンを示し、その実現を計画的に図るため、都留市社会福祉協議会組織発展・強化計画を推進し、地域福祉活動計画を着実に推進する。</p>

事業実績

第3次都留市地域福祉活動計画策定

- ・第3次都留市地域福祉活動計画策定委員会の開催（年4回）
- ・アンケート調査実施（市民アンケート調査、各種団体アンケート調査、意見箱）
- ・地区ワーキンググループの開催（市内7地区で開催）
- ・全市ワーキンググループの開催（年1回）
- ・組織ワーキンググループの開催（年1回）
- ・令和4年度第5回理事会において第3次都留市地域福祉活動計画策定について承認

事業名	事業の具体的内容と目的
社会福祉資金貸付事業	<p>1 一般貸付 生活困窮世帯に対し、一時的に資金を貸付け、生活意欲の助長と生活の安定を図ることを目的に50,000円以内を貸付する。</p> <p>2 高額医療費貸付(国民健康保険世帯) 高額医療費支給推定額80%以内で、最高限度額を300,000円とする。</p>

事業実績

資金の貸付業務・相談業務を実施した。

滞納世帯に対しては、新たに滞納整理事務マニュアルを作成し、督促状の発送、電話連絡、また、訪問して現状を把握する中償還計画書を作成してもらう等の取り組みを行った。

	延相談件数	貸付件数	貸付額
一般貸付	10件	1件	50,000円
高額医療費貸付	0件	0件	0円

事業名	事業の具体的内容と目的
福祉バザー事業	市民の誰もが参加できる社会福祉活動として、市民の方より遊休品の提供を受け実施する。

事業実績

例年、自治会や民生委員・児童委員、地区社協役員等の協力により、各家庭から遊休品を提供していただき、福祉バザーを実施しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため中止した。

ふれあいのまちづくり事業

事業名	事業の具体的内容と目的
都留市ボランティアセンターの運営	<p>住民のボランティア活動への関心を高めるとともに活動参加へのきっかけづくりを進め、市民参加型の福祉社会を実現することを目的とし、都留市ボランティアセンターを開設し運営する。</p> <p>住民の主体的な地域活動への参加を促進するための相談窓口の開設、ボランティア養成、広報・啓発、情報提供、ネットワークづくり、コーディネート業務などボランティア活動促進全般の業務を行う。また、ボランティア・市民活動支援機能を強化するため基盤を整備する。</p>
事業実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア相談 月～金曜日実施 相談件数 1588 回 ・ ボランティア情報ボード 市内7カ所に設置 年4回発信 ・ ボランティアグループ・団体実態調査実施 年1回 ・ ボランティア活動保険加入手続き 年21件 ・ 貸館（いきいきプラザ都留内ボランティア活動室・点字音声図書館） 年308件 ・ 備品貸出し 年56回 ・ ボランティア関係資料の発行 「ボランティアハンドブック」 ・ YOUTUBE、Instagramを使った情報発信 	
事業名	事業の具体的内容と目的
都留市ボランティア連絡会の支援	<p>ボランティア間の連絡、情報交換を行い、円滑なボランティア活動の推進と、地域福祉活動の進展に寄与することを目的とする都留市ボランティア連絡会の運営を支援する。</p> <p>都留市ボランティア連絡会の事務局機能を果たし、連絡会の運営を支援する。</p>
事業実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア間の連絡、情報交換など円滑なボランティア活動の推進と地域福祉活動の進展を目的に支援した。 （総会：新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため書面での審議とした。理事会：年3回延べ28名参加、連絡会：令和5年2月13日28名参加） ・ 活動費助成 10,801円 ・ 都留市ボランティア連絡会主催でコロナ禍緊急生活応援～支え合いコロナを吹き飛ばせプロジェクトを実施 	
事業名	事業の具体的内容と目的
都留市ボランティアまつり	<p>市民一人ひとりが、ごく自然にボランティア・市民活動に参加できるきっかけづくり、意識啓発、交流できるイベントを開催し、都留市のボランティア・市民活動の輪をさらに大きくひろげ活動の活性化を図ることを目的とする。</p> <p>都留市ボランティアまつりを開催する。</p>
事業実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため中止した。 	

事業名	事業の具体的内容と目的
地区ボランティアコーディネーター設置事業	<p>身近な地域の中で住民のボランティア活動への関心を高め活動参加へのきっかけづくりを進めるとともに、ボランティア活動の現状やニーズ等情報を収集し、円滑なボランティア活動の推進とコーディネート機能の向上を図ることを目的とする。 市内7地区にボランティアコーディネーターを設置する。</p>
事業実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内7地区に地区ボランティアコーディネーターを11名配置 ・ 地区ボランティアコーディネーター連絡会 年8回開催 延べ58人 市内各地区からの情報提供やボランティア活動推進について協議 ・ ボランティア情報ボードを活用し情報発信 年4回 ・ 各種ボランティア事業実施にあたり運営協力 	
事業名	事業の具体的内容と目的
災害救援ボランティア・福祉救援ネットワーク活動事業	<p>大規模な自然災害が発生した場合に備え、平常時から住民の意識啓発活動、災害ボランティアセンター・福祉救援活動の基盤整備、災害時要援護者の支援体制づくりを目的とする。 都留市災害救援ボランティア連絡会、災害ボランティアコーディネーター研修、青少年災害ボランティアスクール、災害時要援護者支援班活動、防災ネットアマチュア無線クラブ、災害ボランティアセンター設置運営訓練等を行う。</p>
事業実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大規模な災害発生時に、都留市地域防災計画に基づき都留市災害対策本部との協議を経て災害ボランティアセンターを設置し、被災者本位の救援・援助活動を効果的かつ迅速に行うため、平常時から関係者と災害ボランティアセンターの設置・運営に関する課題検討などを行い、災害時における活動の環境整備を図るため、都留市災害ボランティアセンター運営検討委員会を開催した。 (年1回、参加者4名) ・ (有) 暁星観光開発との災害ボランティア宿泊施設の提供等に関する協定を4月に締結した。 ・ 都留青年会議所との協定に基づく会議を行い、災害時の協力について協議した。 ・ 都留市役所総務課危機管理担当と災害時の協力について協議した。 ・ 例年9月に災害ボランティア活動促進を図るため、山梨県立都留興譲館高等学校・谷村地域協働のまちづくりと協働して高校生災害ボランティアスクールを開催。(講演1回、参加者473名、実技1回170名) ・ 災害ボランティアセンターが行う被災地・避難所・その他の機関との情報伝達のボランティア活動として、防災ネットアマチュア無線クラブ活動を支援した。(年2回、延べ参加者18名) ・ 例年、総合防災訓練主会場で行っていた災害ボランティアセンター設置・運営訓練については、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため中止した。 ・ 都留市セーフコミュニティ減災・防災対策委員会に所属し、会議の参加および情報収集等に参加した。(3回※ZOOM会議含む) ・ 静岡県葵区における災害ボランティアセンター運営協力を行った。(5日間、職員1名) 	

事業名	事業の具体的内容と目的
福祉教育推進事業	<p>児童・生徒の福祉・ボランティアに対する関心を高め、様々な体験活動を通じて社会連帯・ボランティア精神・福祉のこころを醸成するとともに、子どもたちを通じて家庭や地域へ啓発を図ることを目的とする。福祉のこころ醸成事業、学校からの相談援助業務を行う。</p>
事業実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校からの相談援助 年8回 ・ 都留市児童生徒連絡協議会活動支援 通年 	
事業名	事業の具体的内容と目的
ボランティア活動推進校事業	<p>市内小学校及び中学校の児童・生徒が体験をとおして、社会福祉への理解と関心を高め、日常生活の中に相互扶助と社会連帯の精神を養うとともに、児童・生徒を通じて家庭及び地域社会の啓発を図ることを目的とする。</p> <p>市内の小・中・高等学校12校を都留市ボランティア活動推進校として指定し、助成金を交付し活動を支援するとともに、相談援助業務を行う。</p>
事業実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内の小・中・高等学校12校を都留市ボランティア活動推進校として指定し、助成金を交付した。 ・ 都留市ボランティア活動推進校連絡会 令和4年8月12日 ZOOMにて開催。参加者17名 	
事業名	事業の具体的内容と目的
ボランティア団体助成事業	<p>地域の中で自主的に活動しているボランティア団体・グループが、活動を継続し、さらに発展していけるよう、支援することを目的とする。</p> <p>1団体当たり5万円を上限に、活動費として助成金を交付する。</p>
事業実績	
<p>1団体当たり5万円を上限に、活動費として助成金を交付した。</p> <p>都留市読み聞かせボランティアこぶたの会、ボランティアサークルひびきの会、都留市ボランティア連絡会、手話&ステップニュークレイン、「歌声のつどい」ボランティア、市民ボランティアYOUR HOUSE～きみのいえ、手話サークル千羽会、あすなる学習会、アマチュア無線クラブ、おもちゃドクタームササビ、つるっ子プロジェクト実行委員会 11団体合計 482,921円</p>	
事業名	事業の具体的内容と目的
各種ボランティア養成事業	<p>ボランティアニーズ・活動経験・参加意欲・年代に応じた各種講座を開催しボランティア活動を活性化することを目的とする。</p> <p>ボランティア入門講座、青少年のボランティア体験、ボランティア講習会経験者編、在宅福祉ボランティア講座、中学生のボランティア体験学習など地域課題に即したプログラムで開催する。</p>
事業実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア入門講座 令和4年9月8日、15日 男性のためのボランティア入門講座 「コーヒーボランティア編」を開催。参加者延べ12名。 	

令和4年4月11日～男性のためのボランティア入門講座「共同菜園ボランティア編」『野菜づくりで生きがいづくり～畑(はた)楽(らき)もん!～』を開催。延べ45名参加。

令和5年2月18日、3月4日、ボランティア入門講座カメラボランティア編を開催。参加者延べ22名。

- ・中学生のボランティア体験学習
新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため中止した。
- ・都留市ボランティア活動先進地視察研修
新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため中止した。

事業名	事業の具体的内容と目的
総合相談事業	住民の生活上の各種相談に応じ、生活の安定と安心を支えることを目的とする。 福祉サービス利用援助事業、生活福祉資金の貸付、社会福祉資金貸付事業、心配ごと相談（簡易裁判所相談事業）、電話相談を行う。

事業実績

一般相談・ボランティア相談

相談日時：毎週月曜日から金曜日（祭日は除く）8時30分～17時15分

対応：社協職員

心配ごと相談

相談日時：毎月第1・第3金曜日 13時～16時

相談員：司法書士 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一部を電話相談にて対応した。

種類	開催日	開催日数	相談件数
一般相談	社協稼働日	随時	507件
心配ごと相談	月2回（金）	21回	29件
ボランティア相談	社協稼働日	随時	1,588件

事業名	事業の具体的内容と目的
ふれあい・いきいきサロン	在宅の高齢者が気軽に集いお互いに交流を深め、地域の人たちとのふれあいの輪を広げるとともに、皆で支えあう地域づくりを目指し、身近な地域を拠点に、住民である高齢者とボランティアとが、それぞれの興味や関心に合わせて協働で企画をし、共に運営する仲間づくりの場をつくり、早期の介護予防活動の推進と地域ボランティア活動の促進を図ることを目的とする。 身近な地域におけるふれあい・いきいきサロン活動を推進する。

事業実績

身近な地域を拠点に、ふれあい交流活動（レクリエーション等）、麻雀、健康づくり（健康チェック、相談、ストレッチ体操等）、趣味・文化活動（手芸、折紙、歌等）を実施した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため中止するサロンが多かった。

サロン32カ所中12ヶ所が活動実施

延べ実施回数 211回 延べ参加者数 3381名

事業名	事業の具体的内容と目的
いこいのひろば	<p>障がいの有無に関係なく、地域の方々、障がいのあるの方々、学生が一体となり誰もが充実して楽しく過ごせるような地域づくりを目的とする。</p> <p>いこいのひろばを定期的を開催する。</p>
事業実績	
<p>例年、地域の人々、障がいのある人々、学生などが一体となり、誰もが充実して楽しく過ごせるよう、様々なクラブ活動やレクリエーション活動を行なった。</p> <p>6回開催：2・4・6・9・10・11月 計155名参加</p>	
事業名	事業の具体的内容と目的
地区ふれあい福祉集会	<p>地域の実情や福祉ニーズを的確に捉え、身近な地域において見守りから具体的な課題対応まで幅広い分野にわたる住民参加による地域自立生活支援活動を継続的に展開することを目的とする。</p> <p>都留市内の7地区（谷村地区、三吉地区、開地地区、東桂地区、宝地区、禾生地区、盛里地区）において、ふれあい福祉集会を開催する。</p>
事業実績	
<p>・地区ふれあい福祉集会 地域の生活課題の共有・解決方法について都留市内の7地区にて話し合った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宝地区 11月8日 ・三吉地区 11月14日 ・谷村地区 11月15日 ・禾生地区 11月16日 ・盛里地区 11月17日 ・開地地区 11月24日 ・東桂地区 11月30日 	
事業名	事業の具体的内容と目的
福祉医療健康講座	<p>都留医師会、都留CATV、山梨大学と協働し、「福祉・医療・健康」について市民と医師のディスカッション形式の対話集会を開催し、地域社会に対する福祉・医療の啓蒙・啓発活動に努めると共に、住民の病気予防活動につなげることを目的とする。</p>
事業実績	
<p>新型コロナウイルス感染症の影響から、山梨大学、都留医師会、山梨県立男女共同参画推進センターぴゅあ富士、都留CATV、社会福祉協議会の5者で協議し、山梨大学公開講座を収録して都留CATVにて放映した。</p> <p>テーマ「糖尿病ってどんな病気？～理解と予防とつきあい方～」</p> <p>収録日 令和4年10月30日（日） 都留CATV放映日 11月18日（金）・19日（土）・20日（日）</p>	

事業名	事業の具体的内容と目的
老人の幸せの里づくり事業	高齢者の生きがいづくりとして、各教室（民謡・詩吟・舞踊・大正琴・歌謡・囲碁・将棋）を開催し、介護予防や引きこもり防止につなげることを目的とする。 また、一年の活動の成果を発表する場として「ふるさと祭りおさらい会」を開催する。

事業実績

新型コロナウイルス感染防止に十分注意し、高齢者の生きがいづくり・社会参加のため、各教室を自主的に実施した。

ふるさと祭りおさらい会を実施 令和5年3月9日（木） 参加者 88名

教室名	開催数	延べ参加者数
民謡教室	17回	110名
囲碁教室	21回	165名
将棋教室	19回	67名
舞踊教室	15回	100名
大正琴教室	17回	164名
歌謡教室	11回	114名
詩吟教室	18回	115名
能楽教室	25回	743名

計 1,578名

事業名	事業の具体的内容と目的
おふくろの味・知恵袋交流会	高齢者のもつ様々な知識や技術を地域福祉活動に活かし高齢者の生きがいづくりボランティア活動の参加促進を図るとともに、世代間交流の輪を広げ、家庭生活に役立つ様々な生活文化を伝授しあいそれぞれの日常生活を豊かなものにするを目的とする。 おふくろの味を伝授する料理教室や、生活の知恵を伝授する機会を設ける。

事業実績

新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため中止した。

事業名	事業の具体的内容と目的
都留市住民参加型有償在宅福祉サービス事業	日常生活で困った時に地域の中でお互いに支え合い、誰もが自立した、より豊かな生活が送れるよう、住民が、支え合いの精神に基づいた主体的な参加と協力により、よりきめ細やかな福祉サービスを展開することを目的とする。 住民参加型有償在宅福祉サービス「ささえあい・ホットサービス都留」を展開する。サービスを提供する有償ボランティア養成講座を開催し円滑に事業を展開する。

事業実績

おおむね65歳以上の高齢者またはその家族、障害（児）者またはその家族、子育て中の家庭、ケガや病気等で一時的に生活に支障をきたしている方を対象に食事の援助、衣類の洗濯・補修、日常的な住居等の清掃、整理整頓、生活必需品の買い物、手紙等の代筆、朗読、話し相手、見守り、医療機

関等との連絡、受診時の付添い、薬の受取り・服薬確認、簡単な身の回りの援助、外出介助（散歩、買い物付添、通院の付添等）、大掃除、粗大ごみの片付け、ゴミ出し、庭の草取り、庭木の剪定、子育て支援（家事援助）等、在宅福祉に必要なサービスを展開する。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、室内での支援は状況に応じて休止し、屋外での支援についても、依頼会員や協力会員の意向を確認しながら対応した。

（利用会員：利用者数 12 名 協力会員：協力者数 9 名 延べ活動回数 48 回）

・住民参加型在宅福祉サービス養成講座開催（登録者 2 名）

事業名	事業の具体的内容と目的
福祉課・長寿介護課・健康子育て課・社会福祉協議会四者での意見調整・情報交換会	保健福祉センターいきいきプラザ都留の中にある、福祉課、長寿介護課、健康子育て課、社会福祉協議会の四者で情報交換・意見交換を行い、各々の使命・役割・事業内容を共有化し、市民にわかりやすく市の保健・福祉・介護・子育て関係の情報を提供するとともに、市民からの問い合わせや相談対応に関して、適材適所に結び付けるよう四者で連携することを目的とする。
事業実績	
福祉課、長寿介護課、健康子育て課と随時情報交換や会議を行った。	
事業名	事業の具体的内容と目的
障がい者スポーツの振興	障がい者団体・障がい者施設・デイケアなどとネットワークをつくり、障がい者同士の交流と地域住民の交流の場としてスポーツ交流会を開催し、スポーツの楽しさを通じて親交を深めるとともに相互理解を深め、共に生きる地域社会づくりをすすめることを目的とする。 グランドゴルフ交流会を開催する。
事業実績	
例年、障害者スポーツ交流会を行っているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため中止した。	
事業名	事業の具体的内容と目的
共同募金配分金事業	善意による住民の募金の配分金を効率的に利用し、社会福祉事業に役立てることを目的とする。
事業実績	
<p>(1) 赤い羽根共同募金運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年 10 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日 戸別募金、職場募金、大口募金とともに、歳末たすけあい運動を実施 ・令和 4 年 1 0 月 3 日 街頭募金を実施 高校生ボランティアが協力 ・令和 4 年 1 0 月 3 0 日 産業まつりにて街頭募金を実施 総合計 4,296,586 円 <p>(2) 歳末たすけあい事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・援護物資の支給 80 歳以上の在宅ひとり暮らし老人世帯（430 世帯）に現金 3,000 円、寝たきり老人世帯（40 世帯）にバスタオル・現金 3,000 円（共募分 500,000 円） <p>(3) 地区社会福祉協議会等小地域福祉活動事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区社協へ助成 4 地区合計 231,000 円（地区社会福祉協議会活動費） <p>(4) 市町村社会福祉協議会地域福祉活動事業（ボランティア活動推進校事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内 12 小・中・高校にボランティア活動助成金を交付（516,000 円） <p>(5) 地域福祉活動団体推進事業（老人・身障者運動会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人ゲートボール大会事業（市老人クラブ連合会）（52,000 円）、障害者運動会事業（市身障福祉会）（52,000 円）の事業実施に対して助成、障害者ふれあいスポーツ交流会事業は新型コロナウ 	

- ウイルス感染症拡大防止のため中止
- (6) 地域福祉活動団体推進事業 (ボランティアまつり)
 - ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
 - (7) 地域社会福祉事業 (広報の発行)
 - ・年4回「つるの福祉」の発行 (246,000円)
 - (8) 地域社会福祉事業 (子育て支援サロン事業)
 - ・親子のえがお研究クラブ (50,000円) に対して助成、ベビタスママタスは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
 - (9) 地域社会福祉事業 (社会福祉大会事業)
 - ・都留市社会福祉大会の実施 (80,000円)
 - (10) あったかサービス事業
 - ・地区社協 (給食サービス、ふれあいいきいきサロン) への助成 (200,000円)
 - (11) 安心・安全なまちづくり事業
 - ・災害ボランティアセンター設備費、高校生災害ボランティアスクール事業費 (230,000円)
 - (12) みんなで地域をよくする事業
 - ・ボランティア団体への助成 (3団体 130,000円)

事業名	事業の具体的内容と目的
福祉サービス利用援助事業	都留・道志地区地域福祉権利擁護センター (都留市・道志村) の基幹社協として、道志村社会福祉協議会と連携し、様々なサービスを適切に利用することが困難な方 (認知症高齢者・知的障害者・精神障害者) を対象に福祉サービスの利用援助、日常的金銭管理サービス、書類等の預かりサービスを実施し、できるだけ自立して生活が送れるよう支援することを目的とする。

事業実績

日常生活自立支援事業実施状況 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)

- ・問合せ・相談件数：642件 (認知 261件、知的 242件、精神 139件 その他 1件)
- ・契約締結件数：2名 (認知症 2名、知的 0名、精神 0名)
- ・契約終了件数：7名 (認知症 4名、知的 2名、精神 1名、その他 0名)

実利用者数 24名 (令和5年3月末)

(都留市 22名 道志村 2名)

日常生活自立支援事業の広報・周知

- ・各協力社協より相談内容や件数を定期的に聴取
- ・協力社協を訪問・電話連絡・パンフレットを送付することにより日常生活自立支援事業を周知

日常生活自立支援事業の契約

- ・利用者の自宅等を訪問し、調査・契約・支援計画・預かり書を作成

基幹的社会福祉協議会連絡会議への参加

専門員による各市町村協力社協への訪問、記録チェック

(ケース記録、通帳コピー等との照合)

契約終了に伴う手続き

障害者社会参加促進事業

事業名	事業の具体的内容と目的
奉仕員等(点訳字奉仕員・手話奉仕員・朗読奉仕員)養成事業	障害者にとって最も身近な市町村において、ノーマライゼーション（障害のある人も家庭や地域で通常の生活ができるようにする社会づくり）の理念の実現に向けて、コミュニケーション支援、情報支援など障害者の需要に応じた事業を実施することにより、障害者の自立と社会参加の促進を図ることを目的とする。 手話奉仕員・点訳奉仕員・朗読奉仕員養成講習会を開催する。
事業実績	
点字奉仕員養成事業 ・点字奉仕員養成講習会(フォローアップ)を会員の状況から当面（数年）活動を控えることにしていたことと、新型コロナウイルス感染症の影響で開催できなかった。 手話奉仕員養成事業 ・手話奉仕員養成講習会(入門・基礎)を開催 （年 41 回開催、養成人員 16 名 修了人数 16 名）	
事業名	事業の具体的内容と目的
点字・声の広報など発行事業	視覚障害者にとって住みやすい地域とは、全盲や高齢化に伴う弱視といった視覚障害者について正しい理解がすすみ、地域の情報や制度が適切に得られることである。地域の様々な情報を点訳・音声訳朗読などで視覚障害者にわかりやすく情報を届ける情報支援を行うことを目的とする。 広報つる、議会だより、つるの福祉、生活情報、行政情報を点字や声の広報にしてお届けする。
事業実績	
音声訳広報 ・広報つる（12 回発行） ・議会だより（4 回発行） ・つるの福祉（4 回発行） 点訳広報 ・生活情報（年 2 回実施）、行政関係資料（年 24 回実施）	
事業名	事業の具体的内容と目的
当事者組織の支援の実施	会員相互の親睦を図るとともに保健・福祉の増進を図り、豊かに人間らしく生きられるよう自立と社会参加をめざして活動を行う視覚障害者の当事者組織を支援することを目的とする。 山梨県視覚障害者協会都留支部の事務局を担当し、活動を支援する。
事業実績	
山梨県視覚障害者協会都留支部の定例会、マッサージボランティア活動、福祉講話などの事業推進にあたり、事務局として支援した。	

在宅福祉推進事業

事業名	事業の具体的内容と目的																							
給食サービス事業	住民参加による福祉のまちづくりを進めるため日常生活に支障のある高齢者、重度の障害者等に食生活の改善及び健康増進を図るとともに地域住民による安否確認を行うことを目的とする。 毎日型食事サービスを提供する。																							
事業実績																								
<p>虚弱なひとり暮らし老人や老人夫婦世帯を対象に、毎日型食事サービスを提供した。配食ボランティアの調整及び募集を実施した。(ボランティア登録数 79名) 利用者個々の身体状況に応じた食事を提供した。</p> <table border="1" data-bbox="515 752 1058 922" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1日平均食数</td> <td>21.6</td> </tr> <tr> <td>延べ配食数</td> <td>5,690</td> </tr> </tbody> </table> <p>配食ボランティア交流会：給食サービス事業委託先が令和5年度より民間事業へ移行するにあたり、配食交流会を実施し、配食ボランティアに向けて感謝状とオリジナルグッズの記念品をお渡しした。</p>						平日	1日平均食数	21.6	延べ配食数	5,690														
	平日																							
1日平均食数	21.6																							
延べ配食数	5,690																							
事業名	事業の具体的内容と目的																							
ふとん丸洗い事業	在宅のねたきり老人世帯等に対し、ふとん丸洗い事業を実施することにより、健康で衛生的な在宅福祉の増進を図ることを目的とする。																							
事業実績																								
<p>健康で衛生的な在宅福祉増進のため、在宅の老人世帯等に対し年3回ふとん丸洗いを実施した。</p> <table border="1" data-bbox="261 1444 1311 1684" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>8月実施</th> <th>12月実施</th> <th>3月実施</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実人数</td> <td>23</td> <td>18</td> <td>17</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>枚数</td> <td>45</td> <td>32</td> <td>31</td> <td>108</td> </tr> <tr> <td>リース利用件数</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>						8月実施	12月実施	3月実施	合計	実人数	23	18	17	58	枚数	45	32	31	108	リース利用件数	1	0	0	1
	8月実施	12月実施	3月実施	合計																				
実人数	23	18	17	58																				
枚数	45	32	31	108																				
リース利用件数	1	0	0	1																				

事業名	事業の具体的内容と目的
生活福祉資金貸付事業	低所得者、障害者又は高齢者に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的とする。 また、令和2年度より新型コロナウイルス感染症対策として実施されてきた緊急小口資金等の特例貸付が令和3年6月までの対応となったため、県社協への申請の窓口として希望者の相談支援を行う。

事業実績

	延相談件数	貸付件数	貸付額
件数	67件	0件	0円

※ 山梨県社会福祉協議会が実施した緊急小口資金特例貸付及び総合支援資金特例貸付（延長・再貸付含む）

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付けを行った。

なお、特例貸付申込みは令和4年9月30日までで終了し、令和4年10月より償還についての相談を実施している。

	延相談件数	申込件数	申請額
特例貸付	99件	19件	10,300,000円

事業名	事業の具体的内容と目的
地域ふれあい健康推進事業	都留市内の7地区（谷村地区、三吉地区、開地地区、東桂地区、宝地区、禾生地区、盛里地区）において、地域住民主体による介護予防活動の展開を図ることを目的とする。 地域ふれあい健康事業を行う。

事業実績

都留市内2地区において、地区社会福祉協議会や協働のまちづくり推進会と連携し介護予防事業を開催した。新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため、その他の地区においては中止した。

- ・三吉地区社会福祉協議会 グラウンドゴルフ教室 年1回
- ・宝地域協働のまちづくり推進会 健康づくり 健康ウォーキングを実施 年1回
- ふれあい事業 チェアエクササイズ 年1回

事業名	事業の具体的内容と目的
福祉バス(みどり号)運営事業	老人クラブ、福祉団体、ボランティア団体など（福祉バス使用規程）の社会福祉活動の利便をはかることを目的とし、福祉バスを運行する。

事業実績

新型コロナウイルス感染症の影響で中止されていた入浴施設への送迎（老人クラブ）は、令和4年10月より再開された。

- ・地区老人クラブの送迎 44回
- ・各種福祉団体の送迎 年8回

事業名	事業の具体的内容と目的
善意銀行事業	都留市の社会福祉事業の推進を図ることを目的とする。 善意銀行の業務を行う。
事業実績	
<p>物品預託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 物品：： 202件 プルタブ・ペットボトルキャップ・使用済み切手・インクカートリッジ等 ・ 社協だより（つるの福祉）へ随時掲載 <p>金品払出、物品払出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 寄付金：1,612,326円 （慰問金 180,000円） （歳末たすけあい事業経費 182,326円） （YOURHOUSE きみのいえ 10,000円、つるっ子プロジェクト 30,000円） ・ 物品：米、綿、着物、端切れ、タオル等 	
事業名	事業の具体的内容と目的
社会福祉基金事業	個人及び企業・団体等から受ける寄付金を積み立て、都留市の社会福祉事業の推進を図ることを目的とする。
事業実績	
令和4年度地域福祉活動計画事業経費（1,000,000円）及び福祉バス事業経費（7,139,000円）に伴い、8,139,000円を取り崩した。	
事業名	事業の具体的内容と目的
地域見守りネットワーク事業	<p>住みなれた地域の中で誰もが安心して暮らすには、公的なサービスの充実とともに、近隣での見守りと助け合いのネットワーク（網の目の組織）が必要となる。地域に住む人たちがネットワークを築き、福祉課題（ニーズ）を小さいうちに発見し助け合う仕組みをつくり実践することを目的とする。</p> <p>日常的に、身近な地域の中で見守り声かけ活動を展開し、生活課題の早期発見・早期支援を行う。</p>
事業展開	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別支援から、民生委員・児童委員、住民組織、事業者等とネットワークを築き、生活支援・見守り体制を構築した。 ・ 社協組織内で、各部署間で連携し情報共有やケース会議を行った。 	

事業名	事業の具体的内容と目的
生活支援体制整備事業	<p>日常生活上の支援が必要な高齢者が、住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続していくために必要となる多様な主体による多様な生活支援・介護予防サービスの提供体制を構築するため、支援ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、サービスを提供する事業主体と連携して支援体制の充実・強化を図ることを目的とする。</p>
事業実績	
<p>生活支援サービスのコーディネート等に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ①有償在宅福祉サービス（年48回）・多職種連携会議参加 ②ふれあい・いきいきサロン活動（12か所 延べ211回 延べ参加者3,381名） ③共同菜園ボランティア畑楽もん（年48回実施） ④コーヒーボランティア活動支援（年17回実施） ⑤生活支援コーディネーター研修参加 令和4年度生活支援コーディネーター養成・スキルアップ研修会（基礎編）9月12日 山梨県SC情報交換会11月21日 ⑥セーフコミュニティ 高齢者の安全対策委員会参加 ⑦都留市自立支援型個別ケア会議参加 ⑧地域福祉に関する市民意識調査アンケート実施 ⑨地区社会福祉協議会アンケート調査実施 <p>協議体設置に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 禾生地区社会福祉協議会定期総会6月9日 禾生地区ふれあい福祉システム推進会議を第2層協議体に位置付け ② 地域の生活課題の共有・解決方法について全市・各地区にて協議 <ul style="list-style-type: none"> ・宝地区第2層協議体会議 11月8日 ・三吉地区第2層協議体会議 11月14日 ・谷村地区第2層協議体会議 11月15日 ・盛里地区第2層協議体会議 11月17日 ・開地地区第2層協議体会議 11月24日 ・東桂地区第2層協議体会議 11月30日 <p>サービス・支援の担い手となるボランティア等の養成に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 都留市住民参加型有償在宅福祉サービスボランティア養成講座 10月28日 年1回 受講者2名 登録者2名 ②介護支援ボランティア養成講座 2月15日 年1回 受講者4名 登録者2名 ③共同菜園ボランティア畑楽もん養成講座 第1クール全5回 4月～6月 第2クール全6回 8月～12月 実働日数 48日 延べ人数229人（ボランティア134人、応援ボランティア7人、 その他参加者88人） ④コーヒーボランティア養成講座 全2回 9月 実働日数 17日 延べ人数75人 ⑤ボランティア入門講座 カメラボランティア編 全2回 2月 実働日数 2日 延べ人数23人 	

事業名	事業の具体的内容と目的
介護支援ボランティア事業	65歳以上の高齢者の健康増進や介護予防、また、社会参加や地域貢献を通じた生きがいを推進し、健やかでいきいきとした地域社会を作ることとする。

事業実績

介護支援ボランティアの養成

- ・介護支援ボランティア養成講座 計1回実施 4名受講
- ・介護支援ボランティア新規登録3名
- ・介護支援ボランティア登録数合計107名

介護支援ボランティアシートの作成・配布

- ・介護支援ボランティアシート作成300冊
- ・介護支援ボランティアシート配布107冊

介護支援ボランティア受入事業所等と介護支援ボランティアの調整

- ・配食ボランティア活動支援
- ・サロン等の担い手活動支援

介護支援ボランティア実施証明印の押印

- ・地域や社会福祉協議会での活動時 社会福祉協議会にて押印

事業名	事業の具体的内容と目的
障害者等相談支援事業	障害者等の福祉に関する各般の問題につき、障害者等からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言その他の障害福祉サービスの利用支援等、必要な支援を行うとともに、虐待の防止及びその早期発見の為の関係機関との連絡調整その他の障害者等の権利擁護のために必要な援助（相談支援事業）を行うことを目的とする。

事業展開

相談支援を利用している障害者等の人数

	実人員 (重複有り)	身体障害	重症心身 障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機 能障害	その他
障害者	20	2	0	5	13	0	0	0
障害児	0	0	0	0	0	0	0	0
計	20	2	0	5	13	0	0	0

支援方法

	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メー ル	個別支援 会議	関係機関	その他	計
件数	91	29	28	173	2	7	113	9	452

支援内容

	福祉サービス の利用等に関 する支援	障害や病状の 理解に関する 支援	健康・医療に 関する支援	不安の解消・ 情緒安定に関 する支援	保育・教育に 関する支援	家族関係・人 間関係に関す る支援	家計・経済に 関する支援
件数	32	1	122	51	0	52	32
ピアカウンセラー	0	0	0	0	0	0	0

	生活技術に関 する支援	就労に関する 支援	社会参加・余 暇活動に関す る支援	権利擁護に関 する支援	その他	計
件数	190	18	11	7	77	303
ピアカウンセラー	0	0	0	0	0	0

事業名	事業の具体的内容と目的
特定相談支援・障害児相談支援事業	社会資源や福祉サービスなどを活用し、障害のある方が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように支援する事を目的とする。 障害福祉サービス等を申請した障害者（児）について、サービス等利用計画の作成、及び支給決定後のサービス等利用計画の見直し（モニタリング）を行う。

事業実績

相談支援を利用している障害者等の人数

	実人員 (重複有り)	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	28	3	0	3	22	0	0	0
障害児	4	0	0	1	0	0	0	3
計	32	3	0	4	22	0	0	3

支援内容（回）

	サービス利用支援	継続サービス利用支援
障害者	28	78
障害児	4	8
計	32	86

計画相談支援給付費（円）

障害者	1,281,970
障害児	123,660
計	1,405,630

令和4年度推移（人）

	新規利用	支援終了
障害者	7	2
障害児	1	0
計	8	2

研修等

山梨県精神障害者の障害特性と支援技法を学ぶ基礎養成研修（相談員1名）

事業名	事業の具体的内容と目的
法人後見事業（新規）	認知症高齢者、知的障害者及び精神障害者など意思決定が困難な人の判断能力を補うため、本会が成年後見人、保佐人または補助人（以下「成年後見人等」という。）となることにより、成年被後見人、被保佐人、被補助人、（以下「成年被後見人等」という。）の財産管理、身上監護を行い、その権利を擁護することを目的とする。

事業展開

法人後見運営委員会の設置・開催

- ・第1回運営委員会／令和4年7月14日（木）
運営委員会委員自己紹介及び事務局職員自己紹介
委員長・副委員長選出
事業説明（法人後見事業について）

広報・周知活動

- ・つるの福祉5月号及び11月号に事業紹介記事を掲載

関係者との連携会議

- ・都留市地域包括支援センターと社協との2者協議を年1回開催

相談援助業務
・相談件数 年2件

事業名	事業の具体的内容と目的
生活困窮者自立支援事業 (新規)	現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者が、困窮状態から早期に脱却することを支援するため、本人の状況に応じた包括的かつ継続的な相談支援等を行うことを目的とする。

事業展開

- (1) 自立相談支援
生活や仕事に対する心配や悩みを抱えている人に対して、地域において自立した生活が行えるように無料で相談に応じ、その人が抱える様々な問題に対応する。
- (2) 一時生活支援
住居のない生活困窮者に対して、一定期間衣食の提供を行う。
- (3) 住宅支援給付業務
離職や廃業またはやむを得ない休業により収入が減少し、住宅の事で困っている人に対して住宅確保給付金を支給する

総括表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間 合計
新規相談受付件数 (本人未特定を含む)	7	6	7	3	8	3	8	5	8	4	8	4	71
①評価実施件数中 就労支援対象プラン 作成者分	1	2	1	2	1	2	1	1	0	0	0	0	11
うち 一般就労開始	1	2	1	2	1	2	1	1	0	0	0	0	11

介護サービス事業

事業名	事業の具体的内容と目的					
居宅介護支援事業	<p>目的：要介護状態にある利用者に対し、適正な居宅介護支援を提供する事を目的とする。</p> <p>事業内容：利用者が、要介護状態にあっても、可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営む事が出来るように配慮し、利用者の選択に基づき、適切な保健医療サービス、福祉サービスが、多様な事業者から、総合的かつ効率的に提供されるよう、公正中立な居宅介護支援を行う。</p> <p>新しい社会資源開発に向けて地域ニーズ、実態把握を目的とし地域にニーズをキャッチし地域の生活課題として提起を行う。</p>					
	事業実績					
<p>(1) 新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、利用者が可能な限り、その居宅において自立した日常生活を営む事が出来るよう、適切な居宅サービスや施設サービスが利用できるようにケアプランを作成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延べ利用人数 (令和3年度：1,995名 令和4年度：1,780名) ・月平均ケアプラン作成件数 (令和3年度：180件 令和4年度：184件) ・ケアマネ1人当たり件数 (令和3年度：36件 令和4年度：29件) 						
<p>(2) 認定調査の実施 (令和3年度：25件 令和4年度：13件)</p>						
<p>(3) 居宅介護支援事業所連絡会・介護サービス事業所合同学習会へ出席し、市内の他事業所や行政と連携・連絡を密にするほか事業所内での事例検討会を開催、各種研修会等に参加した。</p>						
<p>(介護利用者数)</p>						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月
件数(R3)	159	161	157	158	159	157
件数(R4)	138	136	140	138	137	132
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数(R3)	161	155	150	147	136	137
件数(R4)	133	144	140	142	142	144
<p>(予防利用者数)</p>						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月
件数(R3)	11	10	11	13	13	13
件数(R4)	13	12	10	10	10	9
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数(R3)	14	14	16	16	14	13
件数(R4)	9	9	9	9	8	6
<p>(認定調査数)</p>						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月
件数(R3)	0	0	0	7	4	3
件数(R4)	0	0	0	3	3	4
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数(R3)	4	0	4	3	0	0
件数(R4)	0	0	0	3	0	0

事業名	事業の具体的内容と目的					
訪問入浴介護事業	自宅へ訪問し、要介護状態にある利用者に対し、入浴介護を提供する。					
事業実績						
<p>新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、利用者が自立した日常生活を営むことができるよう、居宅における入浴を援助した。</p> <p>・ 延べ利用人数 （令和3年度：507名 令和4年度：411名）</p>						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実人数 (R3)	11	9	11	11	11	11
延べ利用人数 (R3)	47	37	44	46	47	46
実人数 (R4)	11	11	11	10	8	9
延べ利用人数 (R4)	43	45	40	32	36	37
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実人数 (R3)	11	12	11	11	11	12
延べ利用人数 (R3)	42	45	31	39	38	45
実人数 (R4)	9	9	9	8	7	6
延べ利用人数 (R4)	38	24	33	28	27	28

事業名	事業の具体的内容と目的
訪問介護事業	要介護者、要支援者等を対象に、在宅での自立支援の為に、身体介護及び生活支援サービスの提供を行い、在宅福祉の充実を図る事を目的とする。

事業実績

新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、要介護状態にある高齢者に対して、心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことが出来るよう、入浴、排泄、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を図った。

- ・ 延べ利用人数 (令和3年度: 4,851名 令和4年度: 4,560名)
- ・ 延べ訪問時間 (令和3年度: 3887.75時間 令和4年度: 3731.42時間)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実人数 (R3)	33	33	33	33	33	33
延べ利用人数 (R3)	469	402	378	401	432	436
延べ訪問時間 (R3)	385.5	315	300.75	299.25	349.5	351.25
実人数 (R4)	30	30	32	30	29	29
延べ利用人数 (R4)	363	356	355	429	395	390
延べ訪問時間 (R4)	303.55	285.03	279.42	335.3	319.3	324.04
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実人数 (R3)	34	32	31	29	29	33
延べ利用人数 (R3)	437	433	411	343	340	369
延べ訪問時間 (R3)	357.5	354	309.5	278.5	281	306
実人数 (R4)	31	29	31	32	35	35
延べ利用人数 (R4)	397	381	395	385	333	381
延べ訪問時間 (R4)	324.53	316.38	316.66	315.85	280.36	331

事業名	事業の具体的内容と目的
介護予防軽度生活支援事業	65歳以上の独居虚弱高齢者及び虚弱高齢者の世帯を対象に介護認定に関わらず、軽易な日常生活上の援助を行い、自立を支援する事を目的とする。

事業実績

利用者なし

事業名	事業の具体的内容と目的					
介護予防・日常生活支援総合事業 (訪問介護)	要支援1又は2の状態にある高齢者・チェックリスト等で総合事業の対象者とされた「事業対象者」に対し、適正な介護予防訪問介護を提供することを目的とする。					
事業実績						
新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、利用者が可能な限り在宅において要支援状態の維持若しくは改善を図り、又は要介護状態になる事を予防し、自立した日常生活を営むことが出来るよう入浴、排泄、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を行うことにより、利用者の心身機能の維持・改善及び利用者が自立できるよう支援を行った。						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 延べ利用人数 (令和3年度: 304名 令和4年度: 186名) ・ 延べ訪問時間 (令和3年度: 301時間 令和4年度: 186時間) 						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実人数(R3)	5	5	5	5	5	5
延べ利用人数(R3)	24	22	25	25	24	19
延べ訪問時間(R3)	24	22	25	25	24	18.5
実人数(R4)	5	5	5	4	4	3
延べ利用人数(R4)	24	29	27	18	23	13
延べ訪問時間(R4)	24	29	27	18	23	13
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実人数(R3)	5	6	6	5	6	5
延べ利用人数(R3)	23	27	30	26	30	29
延べ訪問時間(R3)	21.5	27	29.5	26	29.5	29
実人数(R4)	3	3	2	2	2	1
延べ利用人数(R4)	10	14	9	7	8	4
延べ訪問時間(R4)	10	14	9	7	8	4

事業名	事業の具体的内容と目的
通所介護事業	<p>要介護者、要支援者等の心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の援助及び機能訓練を行うことを目的とする。</p> <p>送迎、バイタルチェック、入浴支援、昼食の提供、体操、レクリエーション、作業療法、外出行事、保育所・幼稚園・小中高大学生やボランティア団体と交流の機会を設け、地域住民との関わりを持ちながらサービスを行う。</p> <p>・介護者の負担の軽減を図る。(介護離職の防止など)</p>

事業実績

新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、要介護状態にある高齢者に対して、心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことが出来るよう、必要な日常生活上の援助及び機能訓練を行うなど適切なサービスを提供した。

- ・営業日 (令和3年度： 308日 令和4年度： 303日)
- ・延べ利用人数 (令和3年度： 7,504名 令和4年度： 7,137名)
- ・1日平均 (令和3年度： 24.3名 令和4年度： 23.6名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実人数 (R3)	76	80	78	77	71	77
延べ人数 (R3)	607	625	633	625	629	646
実人数 (R4)	79	75	75	75	70	70
延べ人数 (R4)	676	604	648	636	523	588
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実人数 (R3)	77	76	74	72	75	78
延べ人数 (R3)	669	680	601	567	558	664
実人数 (R4)	73	73	72	71	71	71
延べ人数 (R4)	624	642	566	531	509	590

事業名	事業の具体的内容と目的
生きがい通所サービス事業	介護保険の認定で、“非該当”と認定された方を対象に、生きがいと社会参加を促進し、要介護状態になることを防ぐため、デイサービスを提供する。

事業実績

利用者なし

事業名	事業の具体的内容と目的
重度障害者訪問入浴事業	地域における身体障害者の生活を支援する為、居宅において入浴する事が困難な身体障害者に対しての入浴サービスを提供する。

事業実績

利用者なし

事業名	事業の具体的内容と目的
介護予防・日常生活支援総合事業（通所介護）	<p>利用者が可能な限り在宅において要支援状態の維持若しくは改善を図り、又は要介護状態となることを予防し自立した日常生活を営むことができるよう入浴・排泄・食事の介護その他の生活全般にわたる援助を行うことにより、利用者の心身機能の維持・改善及び利用者の自立の可能性を最大限引き出す支援を行うことを目的とする。</p> <p>心身の機能低下を予防するために、人と関わる事で楽しみを見つけられるような時間の提供をする。また運動機能の向上を目的とした体操やレクリエーション、リハビリを通じ、要介護状態へ進まぬようにする。</p> <p>社会的孤立を解消し、心身機能の維持、向上を図る。</p>

事業実績	
<p>新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、事業対象者並びに、要支援1相当又は2相当の状態にある利用者に対して、自立した日常生活を営むことが出来るよう必要な日常生活上の支援及び機能訓練を行うことにより、利用者の心身機能の維持・改善及び利用者の自立の可能性を最大限引き出す支援を行い、機能訓練等の予防介護その他適切なサービスを提供した。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 営業日 	（令和3年度：308日 令和4年度：303日）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 延べ利用人数 	（令和3年度：362名 令和4年度：236名）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 1日平均 （令和3年度：1.1名 令和4年度：0.7名） 	

<p>新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、事業対象者並びに、要支援1相当又は2相当の状態にある利用者に対して、自立した日常生活を営むことが出来るよう必要な日常生活上の支援及び機能訓練を行うことにより、利用者の心身機能の維持・改善及び利用者の自立の可能性を最大限引き出す支援を行い、機能訓練等の予防介護その他適切なサービスを提供した。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 営業日 	（令和3年度：308日 令和4年度：303日）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 延べ利用人数 	（令和3年度：362名 令和4年度：236名）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 1日平均 （令和3年度：1.1名 令和4年度：0.7名） 	

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実人数 (R3)	5	4	5	4	5	5
延べ人数 (R3)	36	26	29	33	29	40
実人数 (R4)	4	4	4	3	3	3
延べ人数 (R4)	23	22	21	22	13	19
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実人数 (R3)	4	4	4	4	4	4
延べ人数 (R3)	29	28	30	27	25	30
実人数 (R4)	3	3	2	2	3	3
延べ人数 (R4)	19	19	15	15	21	27

事業名	事業の具体的内容と目的
自立支援居宅介護事業（居宅介護、行動援護、重度訪問介護、同行援護）	利用者が居宅において日常生活を営む事が出来るよう、身体その他の状況及びその置かれている環境に応じて、入浴・排泄及び食事等の介護・調理・洗濯及び掃除等の家事・生活等の相談・助言、その他生活全般にわたる援助を行う事を目的とする。
	障害者総合支援法に基づいて事業を提供する。（身体障害者・知的障害者・児童・精神障害者） ・視覚障害者を対象に同行援護（移動に必要な情報の提供や移動の援護、介護等）を実施する。 キャリアアップのための研修に参加する。

事業実績

新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、障害者の在宅での生活を支援するため、居宅生活支援事業（ホームヘルプサービス）を実施した。

- ・精神障害者（延べ利用人数：令和3年度：758名 令和4年度：663名）
（延べ訪問時間：令和3年度：818.75時間 令和4年度：725.68時間）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実人数 (R3)	8	7	7	7	7	7
延べ利用人数 (R3)	65	63	68	64	59	56
延べ訪問時間 (R3)	65.5	67	68	68.5	59.5	68.75
実人数 (R4)	4	7	6	7	6	6
延べ利用人数 (R4)	66	46	44	61	55	62
延べ訪問時間 (R4)	70.5	47.5	64	65.1	59.75	67.25
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実人数 (R3)	6	7	7	7	6	5
延べ利用人数 (R3)	67	63	58	60	49	86
延べ訪問時間 (R3)	72	70.5	57	69	60.5	92.5
実人数 (R4)	7	7	6	6	7	6
延べ利用人数 (R4)	57	55	52	56	52	57
延べ訪問時間 (R4)	60.08	52	56.5	63	60	60

- ・身体障害者（延べ利用人数：令和3年度：661名 令和4年度：811名）
（延べ訪問時間：令和3年度：571.25時間 令和4年度：690.5時間）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実人数 (R3)	4	7	5	4	5	5
延べ利用人数 (R3)	86	53	55	44	47	57
延べ訪問時間 (R3)	42.25	51	45.5	42.75	45.5	54
実人数 (R4)	4	4	4	4	4	4
延べ利用人数 (R4)	39	46	56	64	83	84
延べ訪問時間 (R4)	36.75	38.5	36	51.5	62.5	62
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実人数 (R3)	5	5	5	5	4	4
延べ利用人数 (R3)	62	61	60	54	47	35
延べ訪問時間 (R3)	53	56.25	52	48.25	44.25	36.5
実人数 (R4)	4	5	4	4	5	5
延べ利用人数 (R4)	79	82	84	78	56.5	59
延べ訪問時間 (R4)	62	61.25	60.5	57.5	76	86

- 知的障害者(延べ利用人数：令和3年度：953名 令和4年度：986名)
(延べ訪問時間：令和3年度：1020時間 令和4年度 1035.5時間)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実人数(R3)	7	6	6	6	6	6
延べ利用人数(R3)	80	79	92	85	82	82
延べ訪問時間(R3)	87.75	88	92.5	87.5	90	83
実人数(R4)	6	6	6	6	7	7
延べ利用人数(R4)	76	72	80	76	89	89
延べ訪問時間(R4)	82.5	78	85.5	83	96.75	95
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実人数(R3)	6	6	6	6	6	6
延べ利用人数(R3)	82	78	69	69	69	86
延べ訪問時間(R3)	89.5	85.5	74.5	74.5	74.75	92.5
実人数(R4)	7	7	7	7	7	6
延べ利用人数(R4)	89	89	82	83	81	80
延べ訪問時間(R4)	96.5	91.5	89.25	89	75	73.5

- 児童 (延べ利用人数：令和3年度：0名 令和4年度：0名)
(延べ訪問時間：令和3年度：0時間 令和4年度：0時間)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実人数(R2)	0	0	0	0	0	0
延べ利用人数(R2)	0	0	0	0	0	0
延べ訪問時間(R2)	0	0	0	0	0	0
実人数(R3)	0	0	0	0	0	0
延べ利用人数(R3)	0	0	0	0	0	0
延べ訪問時間(R3)	0	0	0	0	0	0
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実人数(R2)	0	0	0	0	0	0
延べ利用人数(R2)	0	0	0	0	0	0
延べ訪問時間(R2)	0	0	0	0	0	0
実人数(R3)	0	0	0	0	0	0
延べ利用人数(R3)	0	0	0	0	0	0
延べ訪問時間(R3)	0	0	0	0	0	0

事業名	事業の具体的内容と目的
障害者移動支援事業	障害者の方々が地域において自立した生活ができるよう、都留市より事業認定を受け、買物の移動や行事への参加や余暇活動への参加等様々な活動に対する移動支援を行う事を目的とする。

事業実績

新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、障害者の方々が地域において自立した生活ができるよう、買物時の移動、余暇活動の参加等様々な生活支援を提供した。

- ・ 延べ利用人数（令和3年度：40名 令和4年度：19名）
- ・ 延べ利用時間（令和3年度：40時間 令和4年度：19時間）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実人数 (R3)	1	1	1	1	1	1
延べ利用人数 (R3)	5	4	4	4	1	4
延べ訪問時間 (R3)	5	4	4	4	1	4
実人数 (R4)	1	1	1	0	0	1
延べ利用人数 (R4)	1	3	2	0	0	2
延べ訪問時間 (R4)	1	3	2	0	0	2
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実人数 (R3)	1	1	1	1	1	1
延べ利用人数 (R3)	1	4	3	3	3	4
延べ訪問時間 (R3)	1	4	3	3	3	4
実人数 (R4)	1	1	1	2	0	0
延べ利用人数 (R4)	3	3	2	3	0	0
延べ訪問時間 (R4)	3	3	2	3	0	0

事業名	事業の具体的内容と目的
基準該当生活介護事業	<p>障害者総合支援法に基づき、障害区分認定を受けた身体障害者、知的障害者、精神障害者に対し、高齢者のデイサービス（介護保険）と同様なサービス（送迎・バイタルチェック・入浴支援・昼食の提供・体操やレクリエーション）を提供し、障害を持った方もできる限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう在宅福祉の充実を図ることを目的とする。</p> <p>社会的孤立を解消し、心身機能の維持と向上を図る。 介護者の負担の軽減を図る。（介護離職の防止など）</p>

事業実績

新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、利用者ができる限り自立した日常生活を営むことができるよう基準該当生活介護（デイサービス）を実施した。

- ・ 営業日 （令和3年度：308日 令和4年度：303日）
- ・ 延べ利用人数（令和3年度：269名 令和4年度：292名）
- ・ 1日平均 （令和3年度：0.8名 令和4年度：0.9名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実人数 (R3)	4	4	4	4	4	4
延べ人数 (R3)	21	21	17	22	18	24
実人数 (R4)	4	4	4	4	4	4
延べ人数 (R4)	20	23	28	22	33	25
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実人数 (R3)	4	4	4	4	4	4
延べ人数 (R3)	26	24	24	21	22	29
実人数 (R4)	4	4	4	4	4	4
延べ人数 (R4)	24	27	24	23	18	25

事業名	事業の具体的内容と目的
養育支援訪問事業	<p>子育てしやすい環境の構築を図るため、家族等の援助が受けられない子育て家庭等に対し、「子育て応援ヘルパー」を派遣し、育児や家事を援助することを目的とする。</p>

事業実績

子供のお世話や掃除等、育児や家事の援助を行いました。

- ・ 延べ利用人数（令和4年度：25名）
- ・ 延べ利用時間（令和4年度：25.75時間）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実人数 (R4)	0	0	0	0	0	1
延べ人数 (R4)	0	0	0	0	0	3
延べ時間 (R4)	0	0	0	0	0	3
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実人数 (R4)	1	1	1	1	1	1
延べ人数 (R4)	3	4	3	4	4	4
延べ時間 (R4)	3	4	3.75	4	4	4